

教育委員会

一般会計要求額 29,655 百万円
(対前年度 +64.1%)
(※対前年度(2月補正予算含む) +35.4%)

【令和5年度 予算要求の方針】

少子高齢化や急速な技術革新により、学校教育を取り巻く環境は変わってきています。また、コロナ禍によって学校の福祉的側面が顕在化し、G I G Aスクール構想が学校教育のスタイルを一新するなど、学校に求められる役割は広がり続けています。

そのため、学校・教職員、教育委員会のみならず、保護者や地域住民、企業等と連携しながら市民総ぐるみとなって、安全・安心な教育環境の確保に努めるとともに、新しい時代の質の高い教育を通じて『子どもがイキイキ育つ』環境の実現を目指し、「安全で安心な学校給食の提供や通学路の安全対策」、「不登校の子どもたちへの支援強化」、「特色ある外国語教育の推進」などに取り組み、子どもたちの学びを着実に進めていきます。

同時に、教員の負担軽減を着実に推進し、子どもと向き合う時間の確保に向けた取組を進めることで、未来を担う子どもたちの可能性を最大限引き出すよう努めてまいります。

時代を切り拓く力の育成

「北九州市学力・体力向上アクションプラン」に基づいた取組を着実に実施し、学力・体力の向上を図ります。SDGsの視点を踏まえた地域教材資料集の作成等、本市の魅力を学ぶ機会を充実し、シビックプライドを醸成します。特別支援学校の整備など、全市的な視野に立った、特別支援教育を推進します。

継 子どもひまわり学習塾事業
新 子どもの”健口力”アップ事業

継 SDGs教育推進事業

要求額 4,985 百万円 (対前年度 +100.6%)



働きがいのある学校づくり

大量退職・採用時代に対応し、教員の確保と育成を進めます。「学校における業務改善プログラム」に基づく取組を進め、子どもと向き合う時間の確保や教職員のワーク・ライフ・バランスの推進を図ります。

新 未来を担う教職員人材確保プロジェクト
拡 教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の配置事業
継 部活動指導員の配置

要求額 1,090 百万円 (対前年度 +20.8%)



安心な学びの場づくり

長期欠席やいじめ等、早期化、複雑化する生徒指導上の課題や子どもの安全に対応するため、スクールソーシャルワーカーなどの専門人材の活用により支援体制を構築するとともに、防災・安全教育を進めます。

継 不登校児童生徒に対する教育活動支援強化事業
継 SNS相談事業

要求額 1,043 百万円 (対前年度 +72.1%)



市民総ぐるみでの支援

社会的・経済的な課題に対応し、早期からのセーフティーネットを構築し、家庭、地域、学校など市民総ぐるみで子どもたちを支援します。

継 コミュニティ・スクール、地域学校協働活動事業
新 夜間中学校開設関連経費

要求額 261 百万円 (対前年度 +73.5%)



未来を見据えた環境整備

ICTなど先端的な教育環境を整備し、教育とデジタルの融合に挑戦するとともに学校施設老朽化に計画的に対応します。

継 学校施設老朽化対策事業

要求額 8,476 百万円 (対前年度 +23.2%)



■主な特別会計

土地取得特別会計

要求額 967 百万円 (対前年度 +96.8%)

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和5年度に実施することが確定しているものではありません。
※ 各項目の要求額は、各項目の新規または拡充して取組む主な事業の合計額です。

令和5年度教育委員会予算要求方針

1 令和5年度教育委員会予算要求総括表及び方針

(1) 令和5年度教育委員会予算要求総括

【一般会計】

職員数 5,300人 (令和4年10月1日現在)

(うち正規+再任用フル 5,188人)

(うち再任用短時間 112人)

令和5年度要求総額	29,654,684千円
令和4年度予算額	18,070,792千円
前年度比	11,583,892千円 (+64.1%)

(※令和4年度予算額に2月補正含む : +35.4%)
※職員給与費を除く

【土地取得特別会計】

令和5年度要求総額	966,885千円
令和4年度予算額	9,883千円
前年度比	957,002千円 (+96.8%)

(2) 令和5年度教育委員会予算要求の方針

少子高齢化や急速な技術革新により、学校教育を取り巻く環境は変わってきています。また、コロナ禍によって学校の福祉的側面が顕在化し、GIGAスクール構想が学校教育のスタイルを一新するなど、学校に求められる役割は広がり続けています。

そのため、学校・教職員、教育委員会のみならず、保護者や地域住民、企業等と連携しながら市民総ぐるみとなって、安全・安心な教育環境の確保に努めるとともに、新しい時代の質の高い教育を通じて『子どもがイキイキ育つ』環境の実現を目指し、「安全で安心な学校給食の提供や通学路の安全対策」、「不登校の子どもたちへの支援強化」、「特色ある外国語や数学、理科教育の推進」などに取り組み、子どもたちの学びを着実に進めていきます。

同時に、教員の負担軽減を着実に推進し、子どもと向き合う時間の確保に向けた取組を進めることで、未来を担う子どもたちの可能性を最大限引き出すよう努めてまいります。

2 重点的に取組を行いたい主なもの

「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に基づく5つの取組に沿った予算要求

(1) 時代を切り拓く力の育成

- ・ **子どもひまわり学習塾事業** **79,134 千円**
児童生徒の主体的な学習習慣や、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、放課後等を活用して学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」を、令和4年度と同規模程度（小学校91校、中学校62校）にて実施する。
- ・ **新規放課後アソビバ モデル事業** **15,838 千円**
すべての子どもがイキイキと育つ環境づくりのため、放課後の校庭等を活用し、子どもが主体的に、多様な体験（遊び）が出来る「放課後アソビバ事業」をモデル的に実施する。
- ・ **新規 kitakyu スーガク+（プラス）** **30,000 千円**
本市の課題である中学校数学科の基礎・基本の定着を図るため、放課後の学校施設を活用して数学の学び直しを行う「数学ノビルバ+（プラス）」を実施する。
さらに、理数への知的好奇心を高めるため、本市中学生を対象に、数学的思考力等の力を競い合う「スー1★GP（スーワングランプリ）」を開催する。
- ・ **外国語教育の推進** **405,118 千円**
外国語（英語）教育を通じて、外国語によるコミュニケーション能力を養うため、ALTの効果的な配置等を行う。また、授業で学んだ英語を試し、学習への意欲を引き出すため、北九州英語村体験学習を実施する。
中学校においては、イングリッシュコンテスト等を開催することにより、自ら発信し、世界で活躍、貢献できるコミュニケーション能力の育成を図る。

・ **SDGs 教育推進事業** **6,832 千円**

SDGs 推進校を指定し、特色ある取組みや実践研究を行うとともに、その成果等を取りまとめて全市に発信し、SDGs の視点を踏まえた教育を拡大・充実する。

また、学習指導要領に示されている「持続可能な社会を創る担い手」の育成やシビックプライドの醸成を図るため、引き続き SDGs の視点を踏まえた地域教材を作成し、教科等の学習で活用する。

・ **小中一貫教育推進事業** **1,730 千円**

義務教育 9 年間を通じた教育活動を充実し、これまで取り組んできた小中一貫・連携教育をさらに推進するため、令和 3 年 8 月に改訂した「北九州市小中一貫・連携教育基本方針」を踏まえ、モデル校での実践や先行事例の研究を行う。

・ **新規**特色ある（外国語教育特化型）小中一貫教育検討事業 **30,956 千円**

グローバル化する世界と北九州とをつなぐ架け橋となり、多様な価値を創造することのできる人材の育成を目指し、小中一貫教育モデル校において、豊富な地域資源を活用して外国語教育に特化した特色ある小中一貫教育の実施を検討する。

・ **新規**子どもの“健口力”（けんこうりょく）アップ事業 **79,400 千円**

令和 4 年 3 月に策定した「学校における歯と口の健康づくり推進計画」に基づき、フッ化物洗口によるむし歯予防、歯みがきや生活習慣の指導、むし歯治療の促進、保護者への啓発活動等の取り組みを複合的に実施し、子どもの“健口力”の向上を図っていく。

・ **小池特別支援学校整備事業** **1,496,666 千円**

西部地域における知的障害のある児童生徒の増加への対応及び老朽化した校舎・運動場の狭隘化等の課題を解消するため、小池特別支援学校の第 2 期改築工事等を実施する。

- ・ **小倉北特別支援学校等整備事業** **1,370,476 千円**
(他に債務負担 4,737,973 千円)

東部地域における知的障害のある児童生徒の増加への対応及び老朽化した校舎・運動場の狭隘化等の課題を解消するため、小倉北特別支援学校及び北九州中央高等学園の移転に向けて、造成工事等を実施する。

- ・ **新規医療的ケア児総合支援事業** **231,939 千円**

医療的ケア児支援法の施行（令和3年9月）を踏まえ、児童生徒本人、家族及び教職員が安心して学校生活を送れるようにするとともに、家族の負担軽減を図るため、医療的ケア学校コーディネーターや看護師の配置、通学支援を行うなど、市内の学校に通う医療的ケア児の支援体制を構築する。

- ・ **新規幼児教育センター設置事業** **22,574 千円**

令和7年3月末で全て閉園となる公立幼稚園が担ってきた役割を発展的に継承しつつ、引き続き本市の幼児教育水準の維持・向上を図るため、「幼児教育センター」を設置し、私立幼稚園等に対し、教育面からの支援を実施する。

- ・ **新規水泳学習の民間委託検証事業** **9,244 千円**

民間のスイミングスクールを活用した水泳学習（民間委託）について、教員の負担軽減、教育内容の充実及び公共施設マネジメントの観点から、モデル校において民間委託による水泳学習を実施し、その有効性を検証するもの。

- ・ **新規最先端の科学を体験する理科教育推進事業（ジュニア・サイエンススクール）** **30,000 千円**

子どもたちの夢への可能性を最大限に広げながら、将来の北九州市の「ものづくり」の担い手や成長分野とされる理工系人材の育成にもつなげることを目的に、小学5～6年生及び中学生を対象に、市内の学習施設や市内企業、大学の人材等を活用して最先端の科学を体験するジュニア・サイエンススクールを開催する。

(2) 働きがいのある学校づくり

・**新規**未来を担う教職員人材確保プロジェクト

10,180 千円

教員不足解消に向けた選考試験に係る広報・支援・事務、管理職確保に向けた公正な選考、人材発掘に向けた講座・実地体験、人材確保に向けた奨学金返還支援を実施する。

・ICTを活用した指導力育成を目指す教員の資質能力向上事業

2,000 千円

教育の情報化の加速に伴い、研修や実践を通してICTを活用した教員の指導力の育成を図る。また、オンライン型研修を充実させ、キャリアステージに応じた研修を体系的に整備し、すべての教員の資質・能力の向上を図る。

・学校支援のための講師等配置事業

438,531 千円

学力向上や長期欠席・不登校対応など、学校の課題や状況に柔軟に対応し、学校運営を円滑に進めていくため、講師等を配置する。

・**拡充**教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置事業

357,206 千円

（うち拡充分 58,349 千円）

学校現場における業務改善の一環として、教員の負担を軽減し、子どもと向き合う時間を確保するため、教員業務支援員の配置を拡充する。

・部活動指導員の配置

22,599 千円

顧問教員に代わって、単独での指導や引率等の業務を行う「部活動指導員」（30名）のうち、週11時間勤務の者を6名から10名に増やし、教員の負担軽減と部活動指導の充実を図る。

また、部活動における地域人材の活用及び効果的な運用のため、地域のNPO法人に2つの部活動の指導を委託する。

・**新規**部活動地域移行事業

45,383 千円

児童生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を将来にわたって確保するために、学校部活動から地域クラブ活動への移行に向けて、市内の5つの部活を地域団体に委託するモデル事業を実施するとともに、有識者等による地域移行検討会議やシンポジウムを開催する。

(3) 安心な学びの場づくり

- ・ 不登校児童生徒に対する教育活動支援強化事業

69,710 千円

不登校児童生徒が通所する教育支援室やオンライン支援室の機能を強化するため、教育活動の充実や学習環境の整備を図る。

また、各学校に設置されているステップアップルーム（別室登校として使用する教室）のエアコン整備を進める。

- ・ **新規**不登校児童生徒の教育機会の確保に係る検討事業

2,500 千円

不登校児童生徒の教育機会の確保に向け、市内におけるニーズ調査や関係者を集めた検討会議を開催し、今後の方向性を検討する。

- ・ **SDGs** 達成のための次世代型教育推進事業 2,804 千円

SDGs 達成視点に基づく「誰一人取り残さない集団と個を意識した子どもへのアプローチ」として学習面・社会面・身体面の3方面のコグトレ（認知トレーニング）を推進し、教師の子ども理解を深め、個に応じた指導や授業改善につなげる。また、コグトレを通して、子どもが自己の学び方考え方を意識することで、更なる成長を促す。

- ・ **SNS** 相談事業

14,993 千円

いじめを含む様々な悩みを抱える児童生徒に対して、SNS を活用した相談体制を構築し、知識や経験を有する専門家が対応することで、児童生徒の悩みや不安の解消を図る。

- ・ **拡充**「チーム学校」運営・推進事業

【スクールカウンセラー活用による問題行動等防止事業】

82,386 千円

長期欠席・不登校の児童生徒への対応や、いじめ・自殺などの諸問題の未然防止を図るため、「心の専門家」であるスクールカウンセラーを配置する。

【スクールソーシャルワーカー活用事業の充実】

106,725 千円

(うち拡充分 18,025 千円)

貧困や虐待・不登校等への対応を含め、児童生徒の問題行動の背景にある家庭等の課題に対して、関係機関との連携を図りながら支援を行うため、「福祉の専門家」であるスクールソーシャルワーカーの配置を拡充する。

<スクールソーシャルワーカー 19人→22人>

【スクールロイヤーの活用】

3,300 千円

生徒指導上の諸課題等に対する相談対応や学校に出向いて法的助言を行うスクールロイヤーの活用を図ることで、子どもが安心して学校生活を送ることのできる環境を整える。

・新規通学路安全マップデジタル化事業

9,338 千円

通学路安全マップをデジタル化し、インターネットで閲覧可能にすることで、いつでもだれでもどこでも通学路の安全について知ることができるデジタルマップの作成に取り組む。

・新規学校給食安全対策事業

332,778 千円

児童生徒等に提供する学校給食について、安全対策の一環として、安全・安心な学校給食を提供できる環境を整えるために、計画に基づく調理機械の更新や、食缶の更新を実施する。

・新規学校給食魅力向上検討事業

10,000 千円

児童生徒等に提供する学校給食について、今後の品質向上を図るにあたり、外部の視点を取り入れて、献立における現状の課題等を整理する。

(4) 市民総ぐるみでの支援

・コミュニティ・スクール、地域学校協働活動事業

45,554 千円

地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていくために、「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的な実施に向けた取組を進める。

- ・ **新規**夜間中学校開設関連経費 **77,333 千円**

令和6年4月の夜間中学校の開校に向けて、教室の改修や多目的トイレの整備等の工事を行うもの。また、開校に必要な備品の購入やシンポジウムの開催、入学希望者向け説明会などを実施する。

(5) 未来を見据えた環境整備

- ・ **新規**GIGA スクール構想に対応した学校通信環境整備事業 **103,680 千円**

GIGA スクール構想の進展に伴う通信環境の変化に対応するため、学習者用ネットワークおよび教員用ネットワークの環境整備を行い、「子どもがイキイキ育つ」環境づくり及び「教員の負担軽減（増加の防止）」を図る。

- ・ **学校施設老朽化対策事業** **5,329,646 千円**

安全で安心な教育環境を整備するため、「北九州市学校施設長寿命化計画」に基づき、大規模改修（長寿命化改修）及び外壁改修などの老朽化対策や安全対策を進める。

- ・ **新規**北九州市立高等学校未来ラボ事業 **28,072 千円**
(他に債務負担 77,896 千円)

北九州市立高等学校に市内の理工系分野に特化した産官学民のコンソーシアムを設立することに加え、生徒誰もが次世代 ICT 環境に触れられる場「未来ラボ」を整備し、将来北九州市で活躍する理工系人材を育成する。

(6) 図書館に関する事業

- ・ **新規**北九州市立図書館基本計画策定等業務 **4,389 千円**

図書館行政の基本的な方針や主要施策等を示す北九州市立図書館基本計画の策定に向けて、市民ニーズ等を把握・分析するための基礎調査を行う。